



東援だより

vol.
34
2020.01

理念

私達は、高い志をもち、時代の要請に基づき先駆的に社会福祉の充実を図るため、利他の精神をもって活力ある経営を行い、社会福祉法人としての責務を果たし、社会に貢献してまいります。



東援健康サロン足ゆび体操

特集

東援健康サロンへようこそ

もくじ

理事長挨拶	1	特集：東援健康サロンへようこそ	4・5
東援ニュース	2	いずみカフェに行ってきました	6・7
委員会活動報告		支援マテリアル紹介	8
東援映画鑑賞会&食事会の紹介	3	東援歳時記	8



すべては利用者さんのために

理事長 山口 桂造

明けましておめでとうございます。
 新たな時代「令和」が幕を開け、初めての年を越しました。
 東京援護協会は、「昭和」の戦後間もなく誕生し、「平成」に大きく発展を遂げました。
 この間、日本の社会は大きく変貌しましたが、東京援護協会は、法人理念に謳った利他の精神に基づき、「すべては利用者さんのために」を合言葉に、激動する時代に立ち向かい、多くの困難を乗り越えてきました。
 そして、新しい「令和」がスタートしました。

現在、法人は、施設の建て替え、民営化、働き方改革、人材確保、そしてIT革命への対応など、課題が山積する厳しい時代を迎えています。
 こうした時こそ、「すべては利用者さんのために」という合言葉を改めて胸に刻み、利他の精神をもって社会に貢献していくことが、100年法人の礎を築いていくものと確信しています。
 東京援護協会は、「令和」も時代の要請に応え、先駆的な取り組みを、果敢に進めてまいります。

NEWS 1

大泉障害者支援ホームを
建て替えます。(令和4年4月開設予定)



大泉障害者支援ホームは、平成26年度に東京都より移譲を受け、民間施設として運営しています。開設からすでに35年が経過しており、建物の老朽化と事業運営上の課題から、建て替えることとしました。令和元年12月から仮設工事に入りました。

新しい施設は、地上2階建てで居室は2人部屋から1人部屋へと変更します。また新たに「水

仮設工事 令和元年12月～令和2年3月

解体工事 令和2年4月～7月(管理棟)

本体工事 令和2年4月～令和3年5月

解体工事 令和3年7月～12月(生活棟)

外構工事 令和4年1月～3月

開設予定 令和4年4月

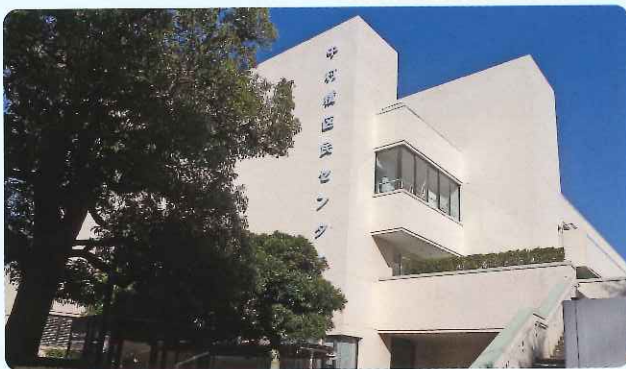


耕栽培」の作業室や、地域の方々との地域交流スペースを設けます。

新しい施設に引っ越すまでに、行うことが盛り沢山。思い出がつまって、名残惜しいですが、新しい建物で気持ちよく働いている姿を想像して、現在スタッフ全員で取り組んでいます。

NEWS 2

中村橋福祉ケアセンターの
生活介護事業を受託し、事業を拡充します。(令和2年4月)

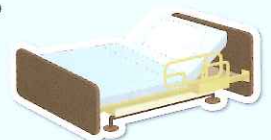


中村橋福祉ケアセンターは昭和54年に開設した練馬区立心身障害者福祉センターの呼称です。

当法人では、平成25年度から事業の一部である中途障害者通所事業(だんだん)の運営業務を受託し、主に高次脳機能障害の方の社会復帰や地域生活の充実を図るための支援を行ってきました。

令和2年度より、練馬区直営の生活介護事業も当法人が受託することになり、昨年10月から準備室がスタートし、現在事業開始に向けた引継ぎを行っています。

重症心身障害者通所事業も行っているため、医療的ケアの比重が多くなります。利用者の皆様が安心して通っていただける施設運営を目指して、準備を進めています。



地域公益委員会

委員会の目的及び活動テーマ

社会福祉法人として、地域の福祉ニーズに積極的に応えていくための活動を企画立案、実施しています。

令和元年度は以下の2つのイベントを継続開催しています。

① 東援健康サロン

会場：高島平福祉園西台分場

② 東援映画鑑賞会&昼食会

会場：いずみの苑・高島平福祉園

今年度の活動実績

- 東援健康サロンでは参加者同士の交流が生まれ、イベントがきっかけで交友関係が広がったというご意見をいただいています。
- 東援映画鑑賞会では子どもたちの「楽しい」という声に加え、民生委員や学校関係者からも「子どもの居場所」として評価していただいています。

今後の活動計画

- 足ゆび体操の解説書を作成して、当法人が地域の方々に提供するサービスの質をさらに高めていきます。
- 両イベントともに参加者同士の交流が見受けられるようになってきています。今後も地域コミュニティの土台作りをしていきます。



地域公益事業

東援 映画観賞会&食事会



「東援映画鑑賞会&昼食会」は、法人の地域公益活動として、子どもたちが親や学校の教師以外の大人と関わる機会を提供することを目的に行っています。主に小学生を対象として、映画鑑賞・昼食の提供・集団レクリエーションの3本柱で月に1回開催しています。

会場はいずみの苑と高島平福祉園を交互に使用しています。近隣の小学校やあいキッズ(学童クラブ)に案内を配布して、毎回20名前後の子どもたちが集まっています。

食後は、集団レクリエーションとして、東京パラリンピックでも行われる、ポッチャ大会です。職員も一緒に入り、チーム対抗で競い、毎回子どもも大人も熱くなります。

「また来たいなー。」とアンケートに書いてくれる子どもたちが多く、「あの時の映画観賞会は楽しかったなあ」と思い出に残るようなイベントにしていきたいと思っています。

特集「東援健康サ

地域コミュニティの形成を目指して

法人理念「利他の精神」を地域で実践

東京援護協会では、板橋区の高島平福祉園分場を会場に、毎月1回法人の地域公益事業として「東援健康サロン」を開催しています。

この事業は、法人の理念に謳った「利他の精神」を法人全体で進めていく取り組みとして、2018年6月から始めました。

地域課題への挑戦

地域の高齢化は東京区部においても確実に進行しています。高齢者の暮らしや健康、そして、地域とのつながりなど具体的な地域課題に、法人として何ができるか検討を重ね、本事業をスタートさせました。

そして、高島平を舞台に法人の全施設が協力してこの事業を継続しています。

今号では、取材スタッフが「東援健康サロン」の取り組みの一端をご紹介します。

ある日の「東援健康サロン」



午前10:00
会場の「3時Cafe」がオープン

「3時Cafe」では、美味しいコーヒーや焼き菓子を提供しています。

終了後は
お好きな
ドリンク(無料)を
飲みながら
リラックスタイム。
ちょっとした
おみやげも
プレゼント。



午前10:30 専門家をお呼びしての講話会

健康、福祉、防災など毎回テーマを決めて、専門家のお話を聞いたり、体を動かしたりしていただいています。この日のテーマは、『災害対策について(高島平消防署)』。「こんなことを聞きたい。」といったリクエストも大歓迎とのこと。



午前11:00 足ゆび体操 + AGEs測定
(AGEsの詳しい説明は裏表紙に)

足ゆび体操は、当法人の「特養いずみの苑」が始めた健康体操で、「高齢者福祉実践・研究大会」で最優秀賞を受賞しています。足ゆび体操は、足の指を開いて動かすことで、転倒予防の効果が期待できます。

「ロン」にようこそ



来場者の声

ご来場いただいた方に、取材スタッフが感想をお聞きしました。
(2019年10月16日取材)



講話会はいつも勉強になっています。(足ゆび体操は)ここでやってもらうのが1番気持ち良いです。
以前と変わらず転倒することもなく過ごせています。



東援サロンには他の用事があっても優先して来ています。
足ゆび体操のマッサージは自宅でも行っています。
歩くときとても調子がいいです。



同じ団地の人に紹介されてから毎回欠かさずに来ています。毎晩足をモミモミしないと足がつって眠れないんです。毎回、健康手帳を持ってきて、(AGEsの)記録を集めています。楽しいですよ。

法人では、利用者の皆さんの声に耳を傾けながら、地域の方々が集い、お互いにかかわり合いを持てる機会として、健康サロンの取り組みを積み重ねていくこととしています。

スタッフ一同、お待ちしております。



お問い合わせ先

板橋区立高島平福祉園分場
「3時cafe(さんじカフェ)」
TEL : 03-5399-7170
東京都板橋区高島平9-1-8-201
営業時間 10:00 ~ 15:00
定休日 土・日・祝(行事などで臨時休業あり)



都営三田線
西台駅より徒歩5分

※東援健康サロンは、
毎月第3水曜日に開催。参加費無料。
どなたでもお立ち寄りいただけます。

2020年1月29日 足ゆび体操 開催!
ナチュラルローソン東上野五丁目店にて



「いずみカフェ」に行ってきました。



「認知症カフェ」って何？

認知症カフェとは、認知症の方やその家族、認知症に関心のある地域の方が気軽に立ち寄れるカフェです。

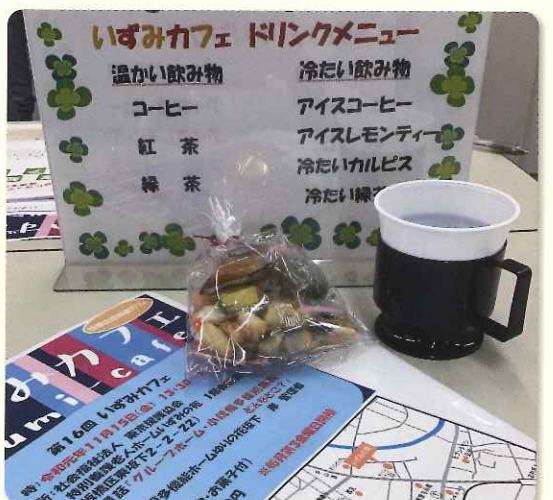
今回、当法人が運営している認知症カフェのひとつ「いずみカフェ」に取材に行ってきました。



学べて話せる地域の居場所「いずみカフェ」

「いずみカフェ」は、蓮根おとしより相談センターが運営する認知症カフェです。この日は車椅子についてのミニ講話と体験会が行われていました。

車いすの種類や操作方法のミニ講話。
皆さん真剣なご様子。



介護職員と一緒に車いすの体験会。押すのはもちろん、自分で乗ってみて初めてわかることもたくさんあったようです。

お好きなドリンクとお菓子を
つまみながら、お話できます。



くらまえカフェ

毎月第3水曜日開催

くらまえ地域包括支援センター(台東区)

お問い合わせ先：TEL 03-3862-2175

開催場所：東京都台東区蔵前2-11-3 4階

来場者の皆さんに お話しを伺いました。

以前は、(夫の介護を)一人で抱えていて孤立していました。参加して、気持ちを吐き出せるようになりました。手が空いたら自分でも認知症カフェを開きたいと思っています。目標があることで張りが出ます。

4年前に夫が認知症を発症し、今はデイサービスに通っています。(介護の)知識を教えてくださいながら、介護を頑張ろうと思っています。

糖尿病の持病があり、アルツハイマーになりやすいと言われていたので勉強しに来ています。色々な人と話をしながら、楽しく勉強したいです。



最後に、「いずみカフェ」のスタッフ水野係長に どんな方に来て欲しいか尋ねてみました。

「(認知症の)ご本人はもちろん、介護をされている家族の方に来てほしいです。学びの場としてだけでなく、皆で思いを共有できる場として使っていただきたいです。介護を頑張るあまり、悩みを抱えてしまう人も多いですが、ここが、普段なかなか言えない愚痴や不満の吐き出しの場になってもらえたら。」と話してくれました。

当事者同士だからわかる苦労や思いもあると感じました。

「いずみカフェ」に、皆さんも足を運んでみませんか。



水野係長

いずみカフェ 毎月第3金曜日開催

蓮根おとしより相談センター

「いずみカフェ」は、
毎月第3金曜日に開催。
参加費100円で、
どなたでもご参加いただけます。

特養「いずみの苑」の中にある、
地域包括支援センター
です。

TEL : 03-5970-9106
東京都板橋区東坂下2-2-22
(特別養護老人ホームいずみの苑内)
都営三田線 志村坂上駅又は
志村三丁目駅より徒歩15分



他の施設でもやっています!



オレンジ カフェ

認知症
カフェ

オレンジカフェ

奇数月開催

まつがや地域包括支援センター(台東区)

お問い合わせ先: TEL 03-3845-6505

開催場所: 東京都台東区東上野2-23-6(永寿総合病院内)

支援マテリアル紹介

CHECK 「支援マテリアル紹介」では、当法人の事業や各施設での利用者の皆さんへの支援に欠かせない、また、当法人独自の器具や道具などを取り上げて紹介していきます。今号では東援健康サロンで活躍するAGEsをご紹介します。

エージーイー AGEs センサ



地域公益事業「東援健康サロン」では、ご来場いただいた皆様の健康づくりに役立てていただくため、「AGEsセンサ(最終糖化産物測定機)」を活用して、測定結果を一人ひとりに配布している「健康手帳」に記載しています。

AGEsとは

食事などで過剰に摂取した糖と人間の身体を主に構成しているタンパク質が体内で結びついて生成される物質のひとつで、その数値は健康と美容の指標になります。AGEsは専用の機械に指を入れ、1～2分で、測定できます。



健康手帳とは

健康手帳は、東援健康サロンでAGEsや血圧を測定された方に配布し、継続した測定を管理するものとして活用していただきます。健康の参考数値として振り返りもできます。



東援歳時記

CHECK 東援歳時記では各施設の折々の風景や催しなどを紹介していきます。

秋の作品展

(令和元年10月26日～11月4日開催)

町田荘・サルビア荘より



町田荘利用者の作品



サルビア荘利用者の作品

町田市、小野路宿にある里山交流館での作品展示は、今年で3回目となりました。この日のために、皆さん丹精を込めて作品作りに取り組み、見ていて気持ちが温かくなるとても素敵な作品に仕上がりました。

この地域で生活する私たちのことを、地域の皆さんに知っていただく良い機会になりました。

編集後記

東援だより第34号をお届けします。今号から内容・スタイルを一新しました。

東京援護協会の事業や活動を、より多くの皆様に一層分かりやすく紹介できるように、活動の現場を取材記事を中心に編集しました。取材にご協力いた

だいた皆様には厚くお礼申し上げます。

編集を終え、広報誌として情報をわかりやすく正確に伝える使命、取材を含めて新紙面の意味深さを実感しています。読者の皆様には紙面一新の思いを届けられたでしょうか。

東援だよりでは、東京援護協会の「いま」と「これから」を一層読みやすく、親しまれる記事としてお届けできるよう努めてまいります。



東援だより 第34号

発行日 令和2年1月14日

発行者 山口 柱造

社会福祉法人 東京援護協会

東京都千代田区鍛冶町1-8-5

新神田ビル2階